

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	どんな時もつながり合える 街の家族				
提案グループ名	「どんな時もつながり合える 街の家族」の実行委員会				
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	青葉区奈良町				
施設整備の概要	<p>住宅地の空家を「街の家族」の活動拠点として整備します。誰でもいつでも支え合える身近な街のリビングルームとして1階はコミュニティスペース、2階は地域活動・生活につながる居住・事務スペースとして整備します。</p> <p>1)道路側の植栽を伐採し、入り口の壁を取り除き、玄関へはスロープを設け、和室にはオープンデッキの広い縁側を設け道路から気軽に入れる様にします。庭は「四季の花・野菜」ガーデンコミュニティカフェとします。周囲の一部に近隣配慮のための目隠し、安全柵設置工事をします。2)居間と台所の壁を取り除き開放的なアイランドキッチンとし広い居間と一体化させます。備蓄庫を設けます。3)トイレは居住者も考慮し浴室から独立させ、バリアフリー工事をします。4)食材農園、保存食品備蓄庫をつくり地域の防災に役立たせます。</p>				
整備助成金申請 予定額	500万円				
設計及び整備の スケジュール	▽	▽	▽	▽	▽
	見積	4月 詳細設計・発注	6月 1階改装	8月 外回り	10月 2階改装

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>1) 1階は広い居間でこどもが遊び、母親が集い、それを高齢世代が茶飲み話をしながら見守る、世代交流がいながら進む様に工夫しました。趣味の会や小物販売スペースを設け交流活動を支えます。</p> <p>2) 屋根付きスロープやデッキの縁側で道路からの入りやすさを追求し、地域の方の技や経験を花や野菜のガーデンをつくりに活かします。とれた野菜は料理の材料、堆肥、備蓄として近隣に還元します。</p> <p>3) 居間の中のアイランドキッチンにより、高齢者も親子も参加でき、気軽な交流が出来ます。</p>
--	---

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>1) 地域の工務店のご協力で看板の作成等、木材や工賃を安価に提供頂きます。組立・設置などの作業は実行委員、協力頂く街の人で行います。</p> <p>2) 奈良地域ケアプラザのDIY教室の卒業グループや機材の借用など協力を頂きながら小修繕・整備は自力で行います。</p> <p>3) 花野菜ガーデンづくりは、協力農家の指導なども適時受けながら、実行委員、住民（種・苗・労力）で行います。</p> <p>4) 家の利用者や地域の方の提供品によりフリーマーケット等で費用を捻出します。</p> <p>5) ペンキ塗り等、イベント的作業は実行委員、2階の住民、子どもから大人の利用者の協力で行います。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>1) 1階はコミュニティースペースとして活動の2本柱のコミュニティカフェ35%、世代交流・見守り合い事業25%、2階賃料40%で、運営経費を賄います。2) 日常の家の維持・管理は実行委員が行います。また企画から利用者も参加し運営します。</p> <p>3) ダイニングキッチンと居間で料理教室を初め、菜園の野菜で料理を作り合ったり、地域の得意な人が保存食づくりを行います。それを一人暮らしの高齢者、子育て中の方へ提供しにぎやかに食べ、利用者の出来る人ができることを行い介護予防、世代交流が出来ます。</p> <p>4) かつての先生やスキルを持った方が、スキルを活かす場やサービスとしても提供します。</p> <p>5) 実行委員の街づくりネットワークや企業の協力で講師を招き、高齢者、子育て世代向け有料講座を開催します。</p>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>地権者：空家を地域の福祉に役立てたいと強い志をお持ちです。</p> <p>近隣住民：裏側隣家（2軒）との擁壁構造の劣化や降雨時の雨水の流入問題が以前からあり、オーナーさんの真剣な対応で、推進の合意を頂きました。</p> <p>地域住民：8月からの「街の家族」の活動を試行し延べ人数250人の方において頂きお話をする中で、地域でのこのような居場所へのニーズは高いと考えています。</p> <p>自治会：既存施設等で提供している活動との違いについて説明を継続中です。今後の活動の具体化、多様化と共に、既に地域で認知されている活動との連携性、補完性について真摯にお話し、ご理解頂けると思います。</p> <p>関係機関：連携をするための話し合いを継続的に行っています。</p>
--	--

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案</p>	<p>これまでのお立ち寄りいただいた、主に高齢者の声を基にすれば、</p> <p>1) 高齢となり遠くへ一人で出かけられなくなった方の気軽に立ち寄る居場所ができ、顔見知りの関係や多世代交流で絆作りにつながる。</p> <p>2) 高齢になってもスキルを伝える場ができ生きがいができる。</p> <p>3) 高齢化、独居で一人では食事作りが難しい方へ、楽しく食べる場の支援となり、また若い世代へは伝統食を伝える機会となる。</p> <p>4) 困ったときは相談したり、助け合ったりする拠り所の場所となる。</p> <p>5) 高齢者の自発的な交流・支え合いは、子育て世代支援や地域で子育てする気運につながる。</p> <p>6) みんなで野菜や保存食づくりをすることで、街の防災備蓄の一役を担える。</p>
---	--

<p>書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>7)空家の活用は地域の防犯につながる。          このような、郊外の空き家を活用し、身近な生活圏にこれまで住んでいた高齢者が集い、そこに若い子育て世代の定住を誘う仕掛けを付与するしくみづくりは、同じような地域課題を抱える他の郊外計画住宅地に対するモデルとなり得えます。</p>
--------------------------	---

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。  <small>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</small>          ※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>奈良町の地域の工務店みにご協力いただけることになりました。試行期間中に、道沿いに立てる掲示板素材を無償で提供いただき街の家族のDIYで完成させます。改築工事、手摺などの内装工事、隣家との目隠し構造の材料の安価な提供等で協力頂きます。トイレ、水回りでは、地域の施工業者から安価な提供で協力いただきます。          見積合せでは、家屋工事、内装工事の分野で広い経験・知識・知人を持つ地域に居住の実行委員会で対応でき調達コスト縮減を図ります。          設計では、子育てで仕事を離れている地域の建築事務所勤務だった方など、活動中に繋がりのできた地域の方の協力をいただきます。</p>
---	---

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>「一緒に活動したい」と地域の方10名が新たに実行委員に加わりました。数か月の間に高齢者の方も活躍できる世代交流の場となり、身近な生活圏の見守り合の場所になっています。          手作りお菓子や昼食を提供してくれる方もありました。今後は、こうした地域の方のスキルを教え合う場やサービスとして発展するものと思います。          顔見知り、支え合う関係が出来ることで、安心・安全のまちづくりや防災、減災に備えた身近な互助の関係を生み、さらに若い世代や学生の参加を促しまちの活性化となります。</p>
---	---

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>日常のおしゃべりの中で、それまでの経験や地域に役に立ちたい思いを聞き、それらをコーディネートすることで、利用者が企画に参加し、実行し、お互いさまで見守り、助け合う関係が地域に生まれました。「空き家を街のために活用したい」とのオーナーの“志”をきっかけに、様々な市民活動経験者が実行委員で集まっています。街づくり、子育て支援、高齢者支援の市民活動を横につなぎ、地域の方の思いをつなぎ、街の課題を解決する「街の家族」の活動です。 増え続ける住宅地の空き家や一人住まいの家のオーナーさんに家の活用方法を提案し、高齢化が進む街で自分達の方で、安心・安全の住みやすい街づくりを進める活動の良い事例にしたいと思います。</p>
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

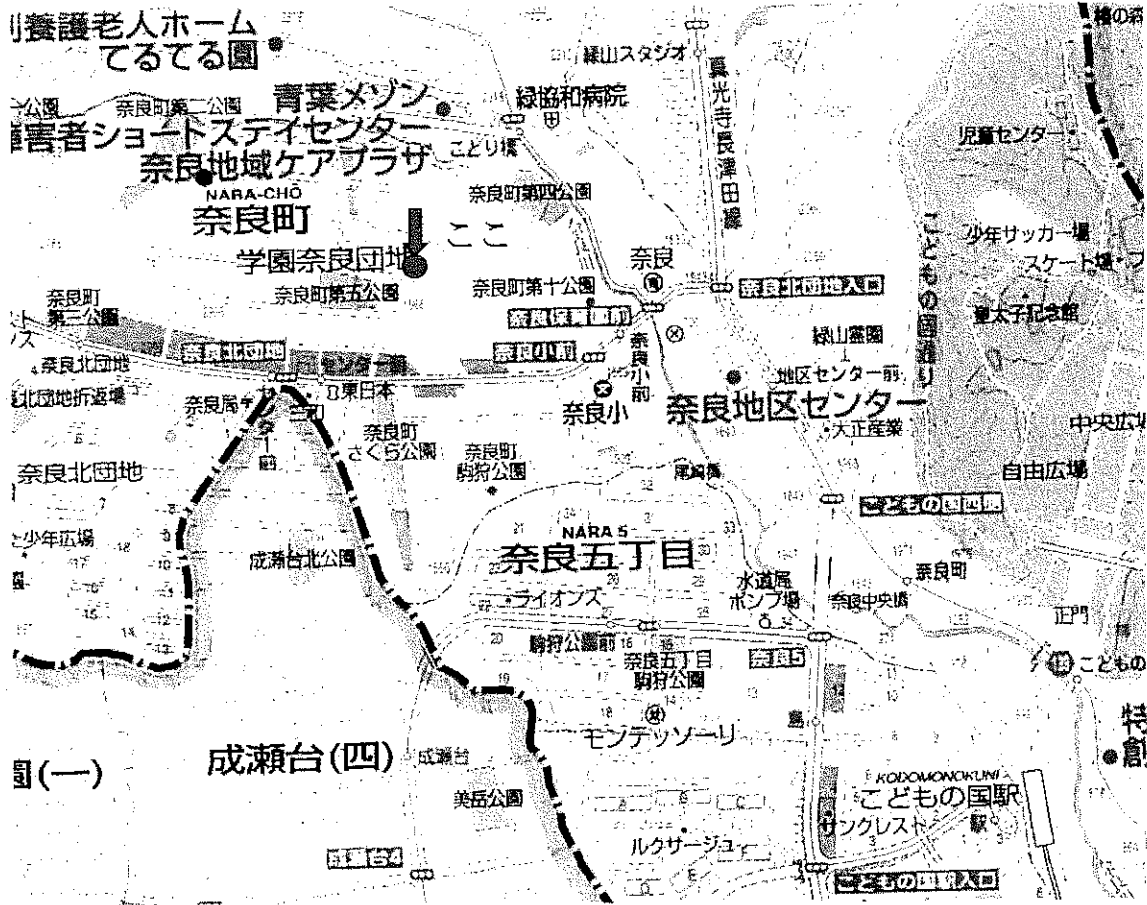
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
1) アプローチ	およびデッキ工事				
解体撤去	駐車場土間、塀等	25㎡	2,800	70,000	
基礎工事		30㎡	5,900	177,000	
木工事・屋根工事		一式	314,000	314,000	
デッキ（サービスデッキ共）	木製	一式	260,000	260,000	塗装工事 住民施工 5人×3日
アプローチ手すり	横手すり		70,000	70,000	
			小計	891,000	
2) キッチン・ダイニング工事					
解体撤去	壁・床・収納等	一式	69,000	69,000	
システムキッチン	アイランド型、食器棚、カウンター等 造作	一式	1,862,000	1,862,000	
給排水・ガス・電気設備工事	器具取付け共	一式	105,000	105,000	
内装工事	クロス新設壁・サッシ	一式	683,000	683,000	
			小計	2,719,000	
3) 玄関・トイレ工事					
解体撤去		一式	32,000	32,000	
内装工事	クロス張、CF等	一式	47,000	207,000	
給排水設備工事	便器、洗面台共	一式	290,000	290,000	
手すり設置	玄関、トイレ取付	一式	43,000	43,000	
			小計	572,000	
4) 階段・2階	ミニキッチン設置	工事			
木工事	解体、手すり等	一式	77,000	77,000	
内装工事	PB・クロス張・床	一式	42,000	42,000	
給排水・電気設備工事	ミニキッチン、換気扇含む	一式	165,000	165,000	
		小計		284,000	

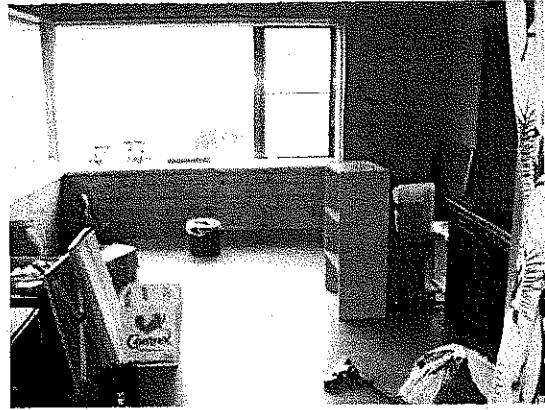
5) 植栽伐採・庭整備	道路境界線側灌木 伐採、庭樹木およ び菜園 整備				住民施工 植栽伐採 5人×2日 庭整備 5人×4日
隣地目隠し柵設置 西側境界	フェンス 2000w×1800h	6枚	14,000	84,000	
隣地目隠し柵設置 北側境界（菜園 側）					住民施工 5人×3日
		小計		84,000	
6) 設計監理料	1) ~6) 工事費 10%以内		450,000	450,000	
		小計	450,000	450,000	
合計				5,000,000	

# 位置図及び現況写真

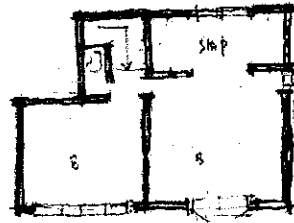
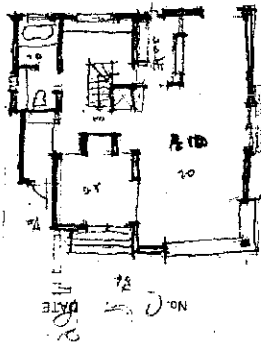
1:12500



外観 (南側から)

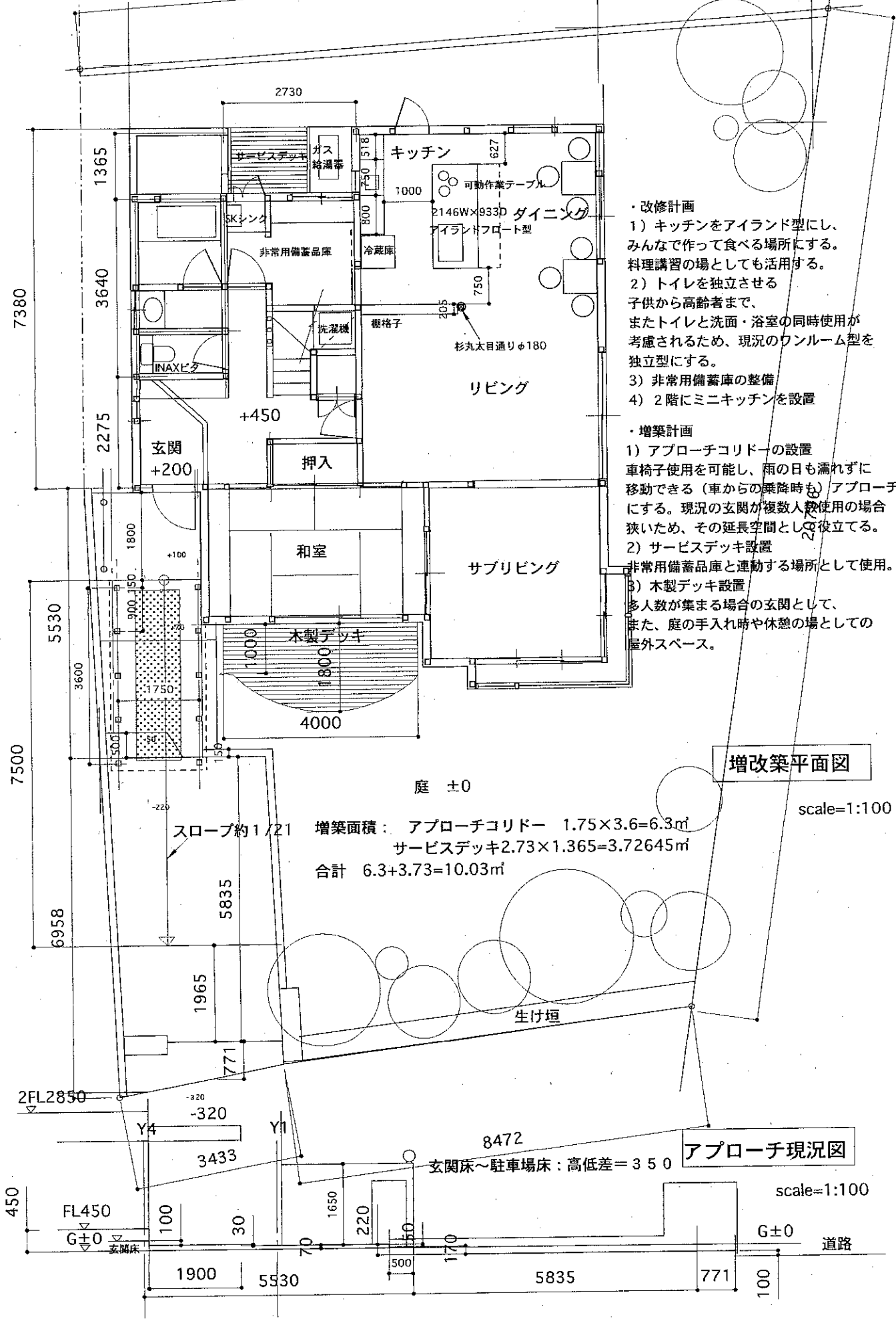


南に向けた居間



所在地：横浜市青葉区奈良町

街の家族の家 増改築計画 15476



- ・改修計画
  - 1) キッチンをアイランド型にし、みんなで作って食べる場所にする。料理講習の場としても活用する。
  - 2) トイレを独立させる。子供から高齢者まで、またトイレと洗面・浴室の同時使用が考慮されるため、現況のワンルーム型を独立型にする。
  - 3) 非常用備蓄庫の整備
  - 4) 2階にミニキッチンを設置
- ・増築計画
  - 1) アプローチコリドーの設置。車椅子使用を可能し、雨の日も濡れずに移動できる（車からの乗降時も）アプローチにする。現況の玄関が複数人数使用の場合狭いため、その延長空間として役立てる。
  - 2) サービスデッキ設置。非常用備蓄品庫と連動する場所として使用。
  - 3) 木製デッキ設置。多人数が集まる場合の玄関として、また、庭の手入れ時や休憩の場としての屋外スペース。

増改築平面図

scale=1:100

スロープ約1/21 増築面積：アプローチコリドー 1.75×3.6=6.3㎡  
 サービスデッキ2.73×1.365=3.72645㎡  
 合計 6.3+3.73=10.03㎡

アプローチ現況図

scale=1:100

玄関床～駐車床：高低差=350

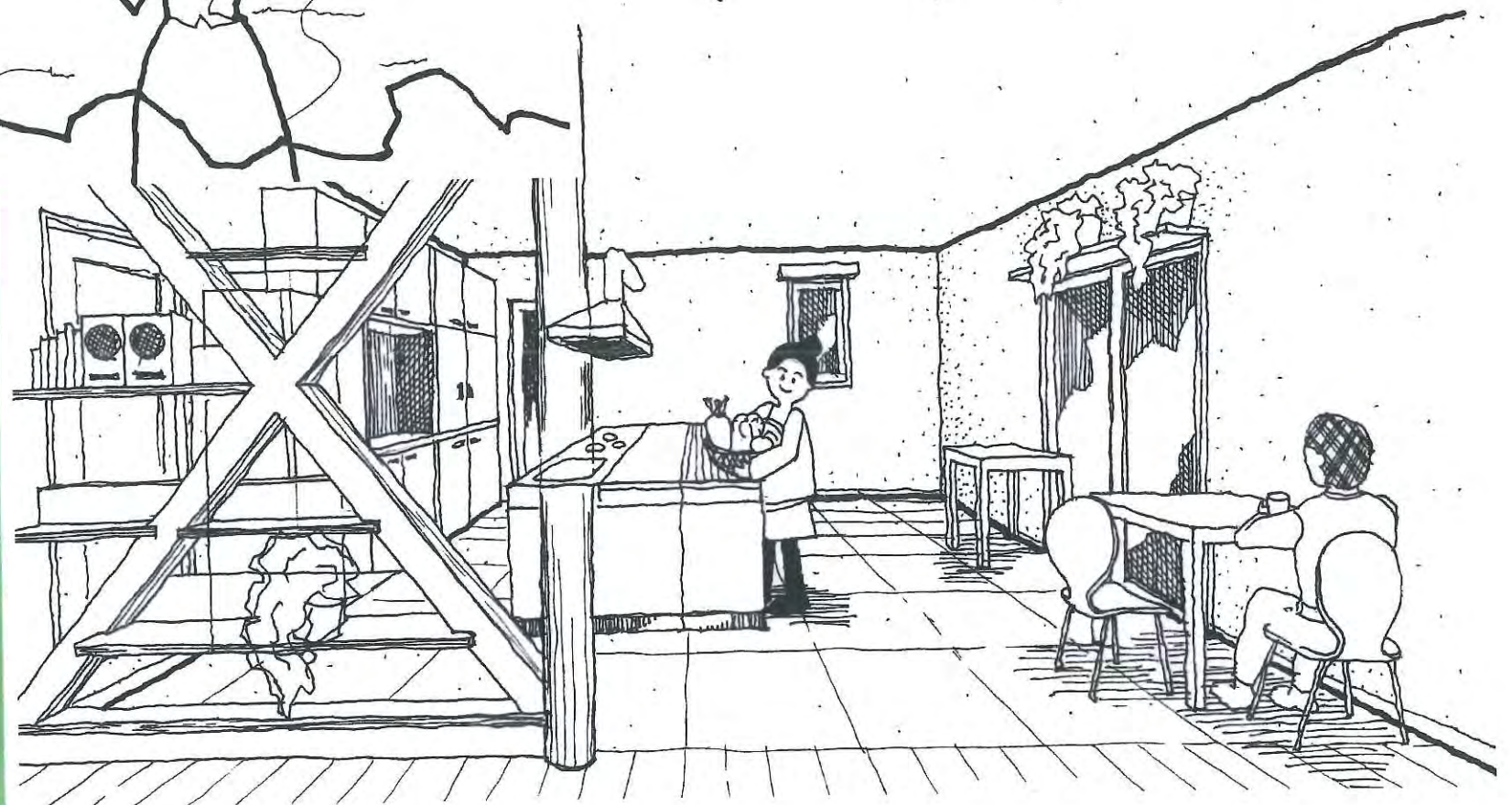


# 「街の家族」の家



アプローチコリドーとデッキ

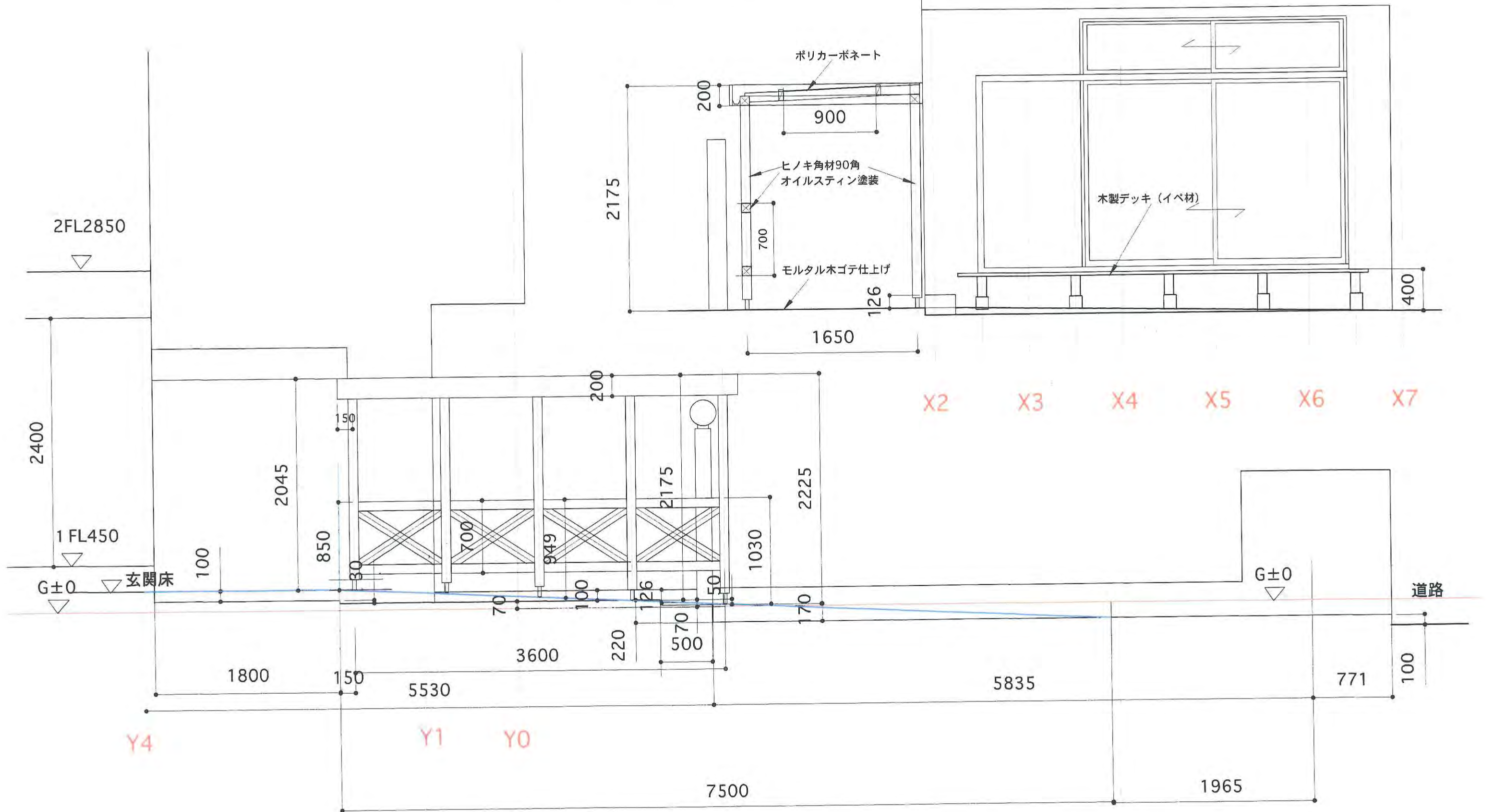
みんなの菜園で作った野菜で  
みんなで作ったり・食べたり  
アイランドキッチンが みんなの中心です





街の家族の家 増改築計画

アプローチコリドー 正面&デッキ



アプローチコリドー 側面 (西側)

scale=1:50



「街の家族」活動の記録

日時：平成24年11月16日（金）

10時～15時

参加者：10名 親子3家族の方がいらっしゃいました。

- 未就学児のための親子の広場です。1歳未満～2歳未満のお子様と一緒に3家族の方がいらっしゃいました。
- 皆さん街の家族で始めてお会いになられた方で、普段のことや、子育てのことや、尽きない身近な話題でお話が弾んで、お昼までには互いにすっかりお友達のような雰囲気でした。お昼にはお弁当を持ってらした方、気持ちよくお寝んねの赤ちゃんを家に預けてお弁当をとり近くのご自分の家に取りに行かれた方、お昼を食べにチョット帰られたかたも又一緒に、楽しい食事時となりました。
- 午後もし日当たりが良い居間で、3時頃まで子どもさんたちも一緒に、家族的な雰囲気が家に満ちる穏やかな時間が過ぎてゆきました。きっと口コミでこの活動は広がると思いました。



子育てのなかでの日ごろの事、岩間さんのお話、いろいろと、お話が尽きません！

お弁当をたべながら、すききらいや、いろいろ・・・一緒にの食事楽しいー！



日当たり、おもちゃ一杯、広々・・・、いいな

「街の家族」活動の記録

日時：平成24年11月22日（木）

10時～15時

参加者 8名

ケアプラザDIYクラブ

- ケアプラザDIYクラブの方が網戸の網交換作業を進めてくださいました。
- パソコン広場を開催しました。
- 24日に予定されているフリマ出品の品物を整理しました。
- 2次審査報告書のまとめについて話し合いました。（4号様式）
- 小田急奈良学園自治会会長に状況を報告しました。（12月予定、おたより）集会場の利用規定についてお話を伺いました。近隣にお住まいの方々に説明会の会場として、空いていれば“その他”の利用者として有料で使われることを確認しました。子供会関係の活動は、学校側が主体で、自治会は構成員として活動を行っているお話がありました。（防災、登・下校時の安全、見守りなど）
- 12月号チラシを印刷しました。

食事をとりながら、状況について確認しあいました。





平成25年ヨコハマ市民まち普請事業提案活動

みんな時もつながり合える 街の家族

12月のイベント

折り紙を楽しむ



6 (木) 午前中  
 サンタや、クリスマスツリーなどクリスマスの折り紙を折ってみましょう。  
 材料費：100円

毎週木曜日

午前：田中さんの時間（書道）  
 午後：お茶の時間 パリッ広場(午前午後)  
 13 (木) 1時半～3時  
**徳沢さんのチーズケーキでおやつ!!**  
 しっとりチーズケーキはいかが？ (200円)

パソコンで年賀状作り



20日 (木) 10時～3時  
 パソコンを使って、ちょっとおしゃれな年賀状を作ってみませんか？ (無料)

親子の広場(未就学児)

7日・21日 (金) 10時～3時  
 親子で遊びに来てね！  
 お食事をする場所もあります。お気軽に遊びに来てください。(参加無料)

土壌混合法講演会

15 (土) 11時～12時半  
 横浜市で進めている3R夢(スルム)運動の一環で、ごみを肥料にする方法の講演会。  
 (講師：横浜市資源循環局 青葉事務所) (無料)

地場野菜の販売

15 (土) 10時～3時  
 地元野菜が身体を温めてくれます  
 けんちん汁や、スープなどに根菜類はいかがでしょう!!

15日はお鍋パーティーを行います。

好きな物を持ってきてよし、手ぶらでもよし。  
 12時半より 参加費：300円

今年20日(木)が最後です。

来年は、1月10日(木)より開催します。

ボランティア募集中!!

お茶を入れたり、お話したり、こどもと遊んだり、庭や家の手入れetc なんでもOK!!

毎週木曜日はオープンデー

場所：4 地区7班宮野さん宅(奈良町 1566-332)  
 10時～3時までオープンしています。  
 いずれも、出入り自由です。好きな時間にどうぞ!!

HTTP://aoba-portal.net/group/machikazoku

「どんな時もつながり合える 街の家族」の実行委員会

ヨコハマ市民まち普請事業提案活動

宮野さんの空き家を利用しながら  
 どんな時もつながり合える  
 「街の家族」の家に!



<問合せ>

岩間 080-1259-5751  
 河内 090-8461-7882

おたより”街の家族”

H24. 12月号

発行者：「街の家族」 実行委員会

発行日：平成24年11月23日

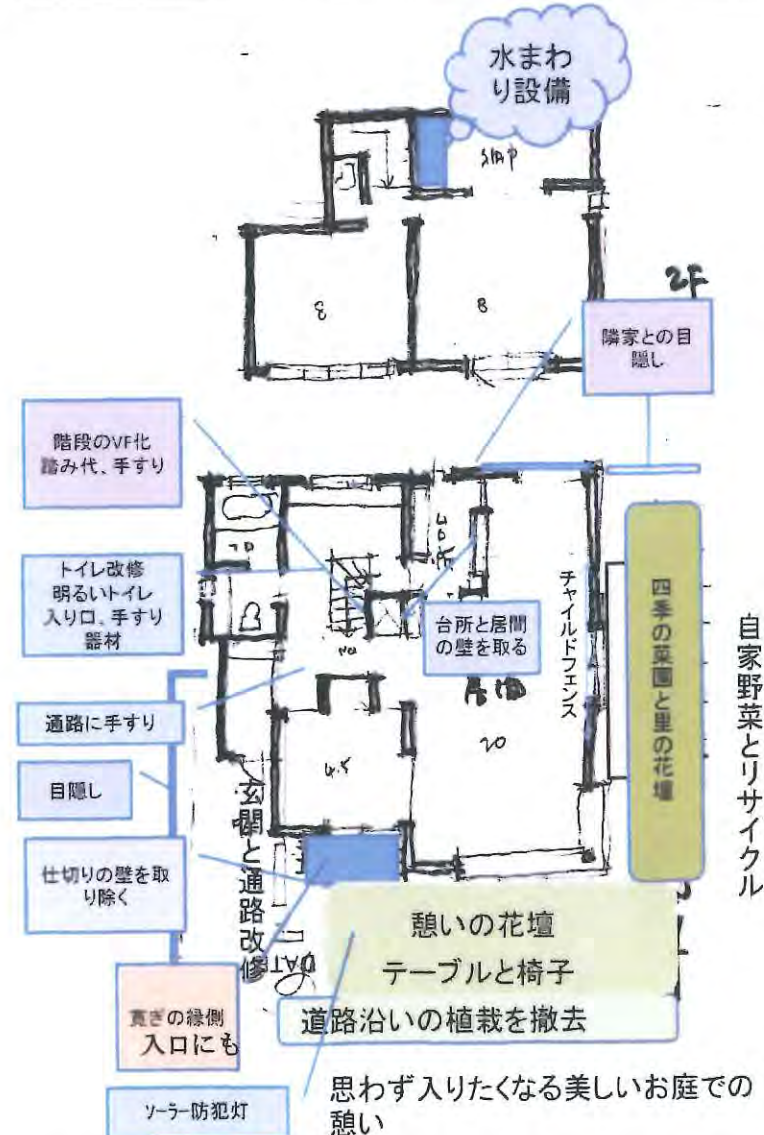
連絡先：岩間 080 1259 5751

河内 090 8461 7882

「街の家族」

のイメージが出来あがってきました。

8月から約3ヶ月間、オーナーの水町さんの志と家の提供、実行委員メンバーのボランティア力と会費、ヨコハマ市民まち普請事業の第1次助成の3つの力を合わせ、街の家族の家のイメージをまとめる活動を行ってきました(試行活動)。24回のミニイベント、延べ人数229人の方が参加されました。この様な話合、懇談の中でイメージがまとまってきました。(左図)



上の図を基に専門の建築士による「街の家族」の家の図面作りが進んでいます。

公道から入りやすく、明るく、美しい庭・菜園のある憩いの家にイメチェンします。11月末に図面が完成しますので、「おたより街の家族」「号外」でお知らせします。

今後の予定について

試行活動は12月で一区切りします。4月～に向け事業活動に移行していきます。ヨコハマ市民まち普請事業の2次審査への受査資格が得られた時は、それに合わせ事業化活動を進めます。受査への要件が不十分と判断された時は、「憩いの台所」、「子ども見守」、「憩いの居間」など、対応が可能なところから順次事業化の活動を進めます。その中で来年度街普請事業への再チャレンジを含め、利用可能な助成金制度を活用し、「街の家族」の事業化を進めます。

2階の居住スペースについて

看護ステーション、介護ステーションなどの地域起業家の事務拠点、近隣の大学・教育施設と協しながら地域福祉・教育関係学生のシェアドルーム、高齢者住宅設備の展示スペースなど、地域にプラスとなる活用を検討しています。関心のある方、是非お声がけください。

- ・ 食
  - 皆で和やかに作りあえる場所
  - 作ると食べるが同居
- ・ 学ぶ
  - 部屋の仕切りが最小限
  - 見通しが良い
  - 世代交流が自然にできる
- ・ 育てる
  - 食を育てる
  - 全てが”循環”の生活を学ぶ
- ・ 美しい
  - 美しいお庭、気持ちのよいトイレ
- ・ 安全
  - いつも誰かが居る
  - 2階の居住スペース